

平治宿・ソーラー発電装置設置作業など

◇実施日；平成27年11月15日(日) 小雨のち曇時々晴
◇参加者；児嶋道夫、川島 功、生熊敏男、梶野照雄。 計4名

土・日は、低気圧通過により雨の予報であり中止を考えたが、梶野氏から低気圧の通過が早まりそうとの事、雨雲の動きを確認すると朝6時頃には通過の様なので実施を決めた。

6時頃まで雨が相当降り、紀伊半島南部は雨量200ミリ近く降り、国道168号線沿いの滝は水量が多く、熊野川は茶色濁つて水嵩も増し、池郷林道の荒れが懸念される。

宮井大橋を渡ると北山川は、濁っていない。次第に雲間に青空が望まれ雨は全く心配なくなる。

梶野氏とは、待合せせずに持経宿へ向う打合せをしたので、池郷林道へ入る。直ぐに梶野氏から「今何処？」の携帯電話、「池原スポーツ公園でトイレ休憩なので直ぐ走ります」とのこと。

心配した林道は、大丈夫そうだ。石ヤ塔の写真撮影場所を通ると車・単車が駐車され撮影者が多い。雨後ガスがかかり良い写真が撮れそうと来たようだが、残念ながらガスがかかっていない。



持経宿出発前



P1170で小休止



ソーラーパネル設置準備

持経宿でソーラー発電のバッテリー及びスイッチボックス、設置道具と薪1束を手分けし荷造りしていると梶野氏が直ぐに到着。持経宿のストーブが暖かったと言うと「青木氏が宿泊し今朝白谷林道経由で釈迦ヶ岳周辺の登山道のヒメササ刈に行く」と梶野氏へ連絡が在ったとのこと。

尾根の木々は、全て落葉し、朝方までの雨で路面に密着し、落葉を踏む小気味良い音がしない。落葉した梢の合間から普段見えない遠くの山並みが見える。気温が高く汗ばむが、北西の風もかなり吹き歩き易い。

10時前に平治宿着。児嶋・梶野氏は、屋根に設置するソーラーパネル(50W)設置箇所選定に屋根へ。雨でトタン屋根は滑り、突き出た煙抜き建屋に命綱ロープを結び、滑り落ちない様にする。生熊・川島は、水場への木製階段の木杭の打ち直しと、朝方までの雨で無理と思うが、一応水場の水溜め用鉄桶の縁にセメント詰め作業は出来ないか確認に下りる。やはり、水量が多くてセメント詰め作業は出来ず、カケヤで木杭を打ち直しながら11時15頃に平治宿に戻る。



煙抜き屋根にパネル据付

LED照明の配線



LED照明点灯！



児嶋・梶野両氏は、屋根上で南西向きの煙抜き屋根にソーラー

パネル取付中である。生熊・川島は、落枝を捜して薪造り。

屋根上への落葉を軽減する為に枝落しをしたが、ソーラーパネルに陽が当たる様周りの木を4本伐採したが、太くてチェーンソーが必要である。生熊・川島は、その内やや細いトガサワラをヨキ・鋸で綱を張り1本伐採する。

屋根へのソーラーパネル取付が11時半過ぎに終り、屋内配線に移る。12時前になり段取りの良い時点で昼食。

畑林清子さんから縫った枕カバーを預かり持参したが、在ると思った肝心の枕が無かった。又、毛布の一部がヒメネズミにかじられて巢作りの跡があり、次回に対処したい。

事前に組立持参したスイッチボックスは、点滅電球で暗くても判る様にして下さる、LED電灯は2灯。又、スマホ・携帯電話充電器も据付られた。

これで行仙宿、平治宿、持経宿には、ソーラー発電によるLED照明とスマホ・携帯電話充電器が設置され、いずれも児嶋、梶野両氏によって成され、行仙宿の一部以外は無償提供して頂き、本当にありがたく、御礼と感謝申し上げます。



照明配線打合せ？ スマホ・携帯充電器据付

作業終了！

14時前に川島・生熊は先行して持経宿へ戻る。梶野氏は、水のセメント詰め作業の現地確認へ。児嶋氏梶野氏が戻るまで待

機。

先行者は、千年檜祠のシキミを採り供えて持経宿に戻る。程なく梶野、児嶋両氏が戻り、宿内でコーヒーを飲むことにするが、ガスカートリッジが無い。児嶋さん持参の魔法瓶のお湯を入れて下さるが、温いかもと発電機を動かして電子レンジでチンする。

児嶋氏は、ヤマガラ餌場に囀の鳥を置き、餌のヒマワリの種を蒔く。ヒマワリの種は、瓶詰めで囲炉裏側の屋内窓枠に置かれて

ゆっくりくつろぎ持経宿15時40分に下山、池郷林道を出た地点で梶野氏と別れ帰新した。
(記 川島)



持経宿・ヤマガラ餌場

行動タイム

新宮 6:55 → 池原・池郷林道口 8:05 → 8:40 持経宿 9:05 → 9:55 平治宿(昼食 12:00 ~ 12:40) 13:55 → 14:45 持経宿 15:40 → 16:15 池郷林道口 16:20 → 17:30 新宮

寄贈品

児嶋道夫；ソーラー発電設備機材。
梶野照雄；スマホ・携帯電話充電器機材。
畑林清子；持経宿・枕カバー(9)。

